

CIRレポート12月号（スペイン）

「スペインのクリスマスと大晦日」

国際交流員 ヘマ・ガルベス（スペイン）

スペインのクリスマス

やっと冬が訪れ、街のあちこちでライトが飾られていて、クリスマスの気配が感じられますね。スペインの街でもクリスマスライトがピカピカ光っていて、人々は家族に連絡する等してクリスマスや年越しの準備で忙しくなります。しかし、なぜスペインのクリスマスイルミネーションではサンタクロースではなく、ラクダが三匹いるのでしょうか？今月のCIRレポートでは、スペインのクリスマスについてご紹介します。



スペイン人に「クリスマスは何する？」と聞けば、12月25日だけのことより、25日から1月6日までの予定を答えるかもしれません。何故かという、スペインのクリスマスの休みは1月6日までであるからです！12月25日から1月6日というのはかなり長い気がするかもしれませんが、職場によっては、クリスマスの休みは12月25日以降から始まる場所もあります。学校はだいたい12月25日の週から1月6日まで休みです。ある学校では、休みの前にサンタクロースが学校を訪れて子供達にプレゼントに何が欲しいかを聞きます。



しかし、スペインでは、サンタクロース以外に子供達にプレゼントを渡す他の三人がいます。この三人は聖書に登場する「東方の三博士」です。この三博士は、イエスを拝するために流れ星に導かれて、ベツレヘムに辿り着きました。イエスが生まれた馬小屋に着くと三人はそれぞれプレゼントを捧げました。メルキオールは黄金をプレゼントしました。バルタザールは乳香をプレゼントしました。そしてカスパールは没薬をプレゼントしました。イエスの誕生の際に、この三人がプレゼントをしたことから、現在でも三博士がサンタクロースのようにスペインの子供達にプレゼントを渡します。



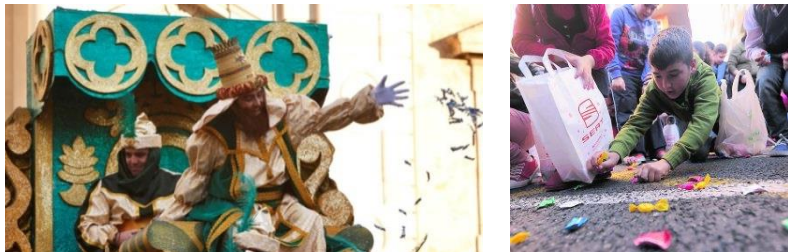
カスパール

バルタザール

メルキオール



プレゼントを渡す前日の1月5日は、スペイン各地で三博士のパレードが行われます。そのパレードで三博士にまだ手紙を送っていない子供は、三博士のお手伝いさんに渡したり、三博士に挨拶したり、山車の音楽で踊ったりして楽しい時間を過ごします。パレードでのもう一つの楽しみは、三博士やそのお手伝いさんが撒く飴を拾うことです。



パレードの前には、子供たちはワクワクしながら三博士を待ちます。ある街では三博士は特別な方法で登場します。私の子供の頃は、家のすぐ近くにあるスタジアムで子供向けのショーがあり、それが終わってから三博士がヘリコプターで登場しました。

アメリカの子供達は、サンタクロースのためにクッキーを作って、クリスマスイブの夜にお腹を空かせたサンタさんのためにクリスマスツリーのそばに置いておきます。スペインではそういう習慣はありませんが、私は三博士のラクダのためにポテトチップスを置いた記憶があります。



そして、いよいよ1月6日になったら、子供達はプレゼントを開けることができます。そして、家族と一緒に「Roscón de Reyes」というドーナツの形をしたケーキを食べます。この「ロスコン・デ・レイェス」の中には1人の三博士のフィギュアか豆のフィギュアが入っています。豆のフィギュアが当たった人が、次の年にロスコンの購入代金を支払わないといけません！しかし、三博士のフィギュアが当たったら王冠をかぶってその日は1日中王様になれます！



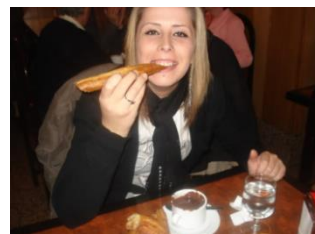
スペインの大晦日

スペインの年越しに欠かせない食べ物は何かと思いますか？豪華なイベリコ豚？スペインカタルーニャ州のスパークリングワイン「カバ」？もちろん、生ハムやカバがあれば嬉しいですが、スペインの年越しに不可欠なのは、12個のブドウです。12月31日の夜カウントダウンする時にブドウがないとスペイン人は、新年を迎えた気がしません。大晦日の夜、スペイン人は12個のブドウを準備して、家のテレビでクロックタワーの生放送を見るか、実際にクロックタワーの前に立ってブドウを食べる瞬間を待ちます。

12月31日の24時になればいよいよ新年を迎える瞬間です。クロックタワーの鐘が12回鳴ります。スペイン人は各鐘の音に合わせてブドウを1個ずつ食べます。12個を食べ切ったら無事に新年を迎えられたということになります。12個のブドウを食べ切れた人は、新年に幸運があるとされています。31日の夜、家族や愛する人に囲まれて12個のブドウを食べ切れたらクラッカーを鳴らしたり、乾杯をしたり、愛しい人にハグや両頬にキスをしたりします。



他の新年の習慣といえば、1月1日のチューロスやチョコレートです。大晦日の夜、友達とパーティーします。スペイン人は夜遅くまでパーティーをします。大晦日の夜は特に若者の間では、翌日の朝までパーティーする習慣があります。友達と徹夜して、次の日の朝はどこかのバーか屋台でチューロスを注文して一緒に食べます。1月1日の朝は、チューロスを買う人が多く、長い列で待たなければなりません。しかし、ブドウを食べて、友達とパーティーして、夜明けにチューロスを食べることができたら、幸せな年越し気分を満喫できます。



皆さんは、今年のクリスマスや年末をどうやって過ごしますか？